



大会要項

1. 大会名称 第26回千葉県アイスホッケー選手権大会〔兼国民体育大会 千葉大会〕
2. 主催 千葉県アイスホッケー連盟
3. 期間 平成28年10月8日(日)、10月14日(土)、10月21日(土)、平成30年1月(予定)
4. 会場 アクアリンクちばアイスアリーナ
5. 開会式 実施しない
6. 参加資格 千葉県アイスホッケー連盟に平成29年度登録をしている社会人チーム及び学生チームに所属する選手。
 - 注意事項
 - ① 追加登録者は、競技委員会開催(平成29年9月30日)までに千葉県アイスホッケー連盟に追加登録(Faceoff申請及び入金)を行い、競技委員会に対してその旨を文書で申し出る。
 - ② 同一登録年度において、他チームへ移籍して大会に出場することは原則できない。
 - ③ 本大会の優勝チームは、第6回日本アイスホッケー連盟会長杯への参加資格を得るものとする。
 - ④ 原則、本年度の国民体育大会関東ブロック予選千葉県代表選手は、本大会出場選手より選考されるものとし、本大会に出場していない選手は国民体育大会関東ブロック予選に出場できない。
7. 参加費 チーム参加費 社会人 **42,000円(21,000円×2試合)**
上記参加費を平成29年9月29日(金)までに競技委員会に納めること。
※入替戦該当チームは上記とは別に21,000円の追加参加費を徴収。
8. 競技規則 千葉県アイスホッケー連盟の定める補助規則を除いては、原則として**国際競技規則(2014~2018)**によるものとし、今年度改正されたルールを適用する。
 - 補助規則(ローカル・ルール)
 - ① 連盟未登録選手または大会未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、そのチームは不戦敗(スコアは0対15)とする。
 - ② オールメンバー表に記載されていない選手は、試合出場できない。
また、当該選手が関係した得点は無効とする。
オールメンバー表にはGK1名を必ず記載して、各試合の練習開始前までに提出すること。
なお、練習終了後は、メンバー表の追加・変更をすることはできない。
 - ③ 危険な用具を着用している選手は試合出場できない。
選手の怪我防止の観点から、試合前に用具が正しく着用されているかをレフェリーが確認し、正しく着用されていない選手には、直ちに改善することを指示するものとする。
 - ④ ベンチにはGK2名、プレーヤー25名の計27名、役員6名まで入れる。
試合開始時に**最低人数(GK1名、プレーヤー5名、計6名)**に満たないチームはその試合を放棄したとみなし不戦敗(スコアは0対15注)とする。
ただし、プレーヤーが6名以上いることを前提に、GKが既に会場に到着し着替え中であることが確かな場合は、試合を開始できる。
また、試合中に怪我やペナルティー等で規定の人数をリンク上に揃えられなくなったチームは、その時点で試合放棄(スコアは0対15)とする。
 - ⑤ チームは、同一のユニフォーム・ソックスを着用するものとする。
同一ユニフォームを着用していない選手は、試合に出場できない。
但し、致し方ない事情により若干相違していると見えるユニフォームは、事前に申請をするものと
 - ⑥ ベンチは本部席から見た左側をホーム・右側をビジターとし、試合前パケットスで決める。
 - ⑦ マウスピース着用は1975年12月31日の選手は必須。GKはその限りではない。
 - ⑧ 18歳未満の選手においてはフルフェイスの着用を義務付ける。
 - ⑧ ヘルメット、パンツはチーム内で色を統一する必要があるが、該当しない選手は試合に出場できない。
但し、致し方ない事情により若干相違していると見えるヘルメット・パンツは、事前に申請をするものとする。
 - ⑨ ユニフォームを着用しないベンチ入りスタッフ最低1名必要。選手ないしはスタッフ登録がされていることが必要。
試合中に選手とベンチ入りスタッフの入替は実施できない。
 - ⑩ 上記項目⑤、⑥、⑧については対戦チーム並びにレフェリーの事前の承諾を得たものに限り許容する。
9. 試合方法 グループA、Bとも3チームによるリーグ方式とする。
試合前の練習は5分とし、各ピリオド間のインターバルは3分とする。
各ピリオドは正味15分とする。
今大会で、グループAの3位とグループBの1位のチームは、入れ替え戦を行い次年度のグループを決めるものとし、勝者がグループAに昇格する。
試合の進行状況によってはリンク枠規定時間内に協議終了するため、競技責任者(連盟スーパーバイザー)の判断でランニングタイムを適用する場合がある。



10. 順位決定 勝ち点制度とする。
勝ち点は、**勝ち3点、引き分け1点、負け0点**とする。
なお勝ち点同数の場合、次の規定により上位を決定する。
- ・勝ち点の多い順
 - ・当該チームの対戦成績
 - ・当該チーム同士の試合で得失点差の大なるもの
 - ・全試合の得失点差の大なるもの
 - ・全試合のペナルティータイム(分)の小なるもの
11. オフィシャル 各試合には、レフェリー委員会よりレフェリーを派遣する。
本部席の**4名**(記録、時計、得点ペナルティ操作、アナウンス)の**4名**は専属のオフィシャルチームにて担当する。
その他の当番のチームは、4名のオフィシャル(スケート2名準備)を派出して、責任を持って競技の運営に努めること。
なお、派出するオフィシャルは、競技事業委員会に提出した大会参加選手名簿に記載している選手及び役員(スタッフ含む)が努めるものとする。
規定人数のオフィシャルを派出しなかった場合は、罰則を課す。
・不足人員2名以上で、次大会への出場権利を剥奪するものとする。
12. その他 付帯事項は下記の通りである。
- ・試合前の準備(試合用パックの準備等)はオフィシャルチームが行う。
試合開始前のゴールの設置及び試合終了後の片付けも同様とする。
 - ・参加チームは必ずスポーツ保険に加入すること。
なお、平成29年9月30日までに証書(写)を必ず競技委員会に提出する。
 - ・大会登録(オールメンバー表)は、平成29年9月30日までに提出(メール)すること。